

## 今年のにほんご 「あいうえお大賞 2026」 入賞作品

### 【一般の部】

別	う段の音で始まる言葉	応募者名	住所	理由
1 席	すえひろがり	川本 弘美	石川県加賀市	人生70年にして、多くの病気になり すえひろがりな人生ではなかった。 これから先、まだまだ困難があると思うがすえひろがりな人生になれるよう努力しようと思う。 そして、娘や孫にも送りたい言葉でもある。
	うぶごえ	岩野 孝亮	石川県加賀市	42歳、厄年も終わり、新たに自分が変化していく事を期待して「うぶごえ」を選びました。 『オンギャー、オンギャー!』 産まれた気がします。
2 席	ゆるり	塩田 律子	島根県松江市	現職を退き、時間に追われていた生活から、今は自分の裁量で一日を過ごす機会に恵まれるようになった。順風満帆だと思っていたが、まさか自分が癌に見舞われるとは思ってもよらなかった。幸いにも生かされた人生。趣味や旅行など自分のためのライフワークを心身の健康に気を付けて過ごしたいものだ。但し、「ゆるり」が原則。心地よさや穏やかさ、温かく包み込まれる居場所で、生き甲斐ある人生をゆるりゆるりとすすめたい。
	うつくしい	佐藤 愛	兵庫県神戸市	今年の2月、我が家に子犬がやってきました。歯の生え変わりの時期は歯が痒いようで、なんでもたくさん噛みます。しかも好奇心旺盛で、伏せ籠から出してやると元気いっぱい家に走り回ります。そんな姿は生命のうつくしさを体現していて、先月やってきたばかりなのにもう大好きです。まだできないけれど、うつくしい生命とのお散歩が今からとても楽しみです。
3 席	うみのおくやま	飯島 悠紀子	千葉県流山市	世界も、日本も、会社や学校の組織も、一人一人も、誰もが大きな山を越えようともがき進んでいる。戦争や紛争で心が痛むニュースも多い中、即効性のある解決策はなくても、対話しながらよりよい方向を目指していけるように、にほんごのやわらかな響きで願いを込めたいと選んだ。
	ふるさと	村田 歩夢	石川県金沢市	わたしが生まれ育ったのは石川県です。石川県はヒトモノも暖かみのあるまちで、大好きなまちです。私は県外に訪れる事もありますが、何歳になっても忘れてならないものは、生まれ育った“ふるさと”の存在です。その土地の歴史と文化が織りなす“ふるさと”、現在では自分が地元民や観光客に伝えています。
	ゆい	蓮見 直子	千葉県鎌ヶ谷市	結 ゆい 人との結びつきを表す 結。 結婚 結束 結ばれる 縁起の良い言葉です。 人はプラスの言葉を聞くと安心したり、穏やかになるそうです。 まさにこの結という言葉 は、とても、温かみのある素敵な言葉で、歴史を感じます。 人と人が結ばれることで 色々な関係が生まれますが 世界が平和で穏やかに結ばれていくことを願って止みません。
	ゆのがわ	福村 江里子	石川県加賀市	山代の総湯と言えば湯の曲輪だと思います。

【小・中学生の部】

別	う段の音で始まる言葉	応募者名	住所	理由
1 席	故きを温ねて新しきを知る	曾谷 逞真	石川県白山市	学校で習ったばかりのことばです。 勉強して過去の事を知ればこそ新しいことがわかるようになる。
2 席	ゆるがない	引野 太貴	大阪府松原市	自分は誰かに指示されると、しないといけないという気持ちで指示されたことをやってしまうことが多く、何かを言われると、人よりもとても心が傷つき、メンタルが弱いのですぐに気持ちが沈んでしまいます。でもこの「ゆるがない」という言葉を見つけ、なにかひどい言葉を言われても自分の心を暗くせず、なにか指示されてもしっかり何をするのかなどを考え、「ゆるがない」気持ちでこれからも挑んでいきたいと思っています。
	うみだす	西口 蓮翔	大阪府松原市	2026年最近aiとかがでてきて人よりaiに聞いたほうがいいみたいになっている世間と思います。でも私は、そうじゃなくて【うみだす】は人の努力とか熱量とかで生まれると思います。自分も部活でサーブの打ち方があんまりよくなのでこまっていた時期がありました。でも自分で考えて努力したら自分だけのサーブの打ち方がわかりました。だから、私はaiで【うみだす】ではなく自分で【うみだす】が大事だと思います。
3 席	つながり	山内 萌生	石川県加賀市	今年、高校受験と祖父と2人だけの旅行を経験し、見返りを求めない優しさにたくさんふれた。例えば駅員さんの助け、学校の先生からの励まし、家族からの勉強の配慮。このことを経験して人と人は助け合って、つながりあって生きていくんだなということを感じた。人は1人では生きていけないし、人とのつながりがあってこそ今があるんだということも感じる事ができた。だから今年はずなかりという言葉大切にしたい。
	雨後の筍 (うごのたけのこ)	東出 典敬	石川県加賀市	雨後の筍とは雨が終わった後の筍がぐんぐんと伸びるみたいにある出来事でどんどん上に伸びていくという意味です。去年は印象的な大阪万博や、オリンピックがって今年にはWBCがあります。自分は小学校の卒業式や中学校の入学式、新しい友達や、自分がやっているスポーツの新チーム、世界的にも自分的にも大きな出来事がこれから始まっていきます。その時にそれをかてにぐんぐんと伸びて成長するために今年の言葉に自分はしました。
	ゆうじょう	中出 陸空	石川県加賀市	もうすぐ小学校を卒業して中学生になるので、友達を作り、大切にしたいと思いました。友達は、一緒に笑えるし、学校生活を楽しく彩ってくれるので、たくさん友達を作ればいいなおもいます。
	うたう	小柳 らら	東京都世田谷区	私の名前は「らら」といいます。東日本大震災の年に生まれ、そういった震災や災難があっても、歌って楽しく過ごせるようにと父と母が名づけてくれました。そんな父と母の願いを心に留めて、何か災難があっても歌ってみんなを元気づけることを目標に今年の日本語は「うたう」にしました。ひらがなにした理由は私の名前も漢字ではなく、ひらがなだからです。
	無限大	川岸 大晟	石川県加賀市	僕が中学校の進路を迷っているときに「君の中には無限大の可能性があるんだよ」と言われてのでまだまだ成功や成長の可能性が限度なく、どこまでも広がり続けて行けると思ったから無限大の可能性を信じてたくさん勉強したり家でバレーの自主練とか自分のできる努力を丁寧に一生懸命頑張っていきたいです。